

●● 校訓 (より正しく・より豊かに・よりたくましく) ●●

令和7年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

帯小の窓

通いがい、通わせがいある学校、今日もおもしろかったなあ

～ 学校教育目標 ～

- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切に、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 10 令和7年6月13日発行

校長 黒島 俊一

令和7年6月7日(土) 運動会の1日から

早朝と運動会閉会式直後に通り雨のような雨に見舞われましたが、途中は暑いぐらいの天候の中、熱中症の心配もありましたが、予定通り第129回目の運動会ができたことを、とてもありがたく思います。

『全力ダッシュ ～あきらめないで最後まで～』のテーマのもと、1年生4名の代表(すばるさん、すすねさん、かがりさん、きょうやさん)の思いあふれる立派な選手宣誓で始まった運動会は、今年も子供たち一人一人が素晴らしい成長の姿を見せてくれました。特に子供たちの素晴らしいこと、お伝えしたいことが3つあります。



近年にはなかった、拮抗した展開、

① 力いっぱいあきらめずに最後まで頑張ったこと

- ・ 競技練習はもちろん、応援練習、実行委員会の活動にも全力で取り組み、走って、投げて、運んで、引っ張って、踊って、最後まで頑張りぬきました。それだけでも、もう素晴らしい運動会をつくりあげてくれています。

② 気持ち一つに全員の力を結集したこと

- ・ 自分の責任と役割を果たし、力を出しきった満足感。閉会式での晴れ晴れとした表情。
- ・ 真剣に取り組む一人一人の力が、仲間の力と結集され、達成感の笑顔が生まれました。子供たちは輝いていました。
- ・ 「力を出し切ったときに、また新たな力が生まれる」という、子供たちのこれからの飛躍を期待させてくれました。

③ 体調管理に気をつけて取り組んだこと

- ・ 保健室(救護)に行く子はいましたが、無理せず一人一人が自分で体調管理、調整しながら、全員が怪我なく、最後まで安全に実施できたことが一番嬉しいことです。



この運動会を通じて、お子さんはいかに多くのことを学び、成長したか。きっとご家庭でも話題にもなったと思います。私もこの大運動会でたくさんの感動を味わうことができ、温かい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この行事で確かに目にしたことは、「お子さんの様々な成長」です。特に自分の役割として最後まで頑張りぬく責任感と、仲間とともに活動する楽しみ、喜びを実感している、温かみのある人と人とのかけがえが素晴らしい。どの子供も様々なかわりで、尊い頑張りを見せていました。

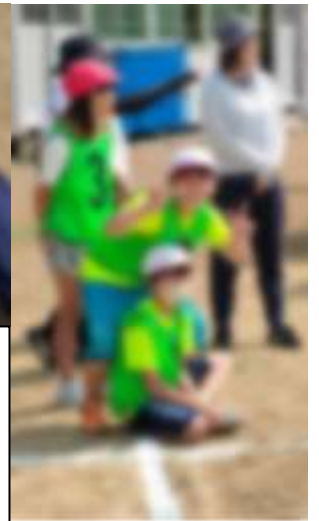
お忙しい中、ご来場いただきました保護者の皆様方、子供たちの姿はいかがだったでしょうか。

これまでのご支援とご協力に改めて感謝申し上げます。また運動会前日のテント設営作業や、大運動会終了後のテント撤去等片付けに関わる「サポーター」のみなさんのほか、新たにスタートした「優先保護者席」の実施も、PTA三役をはじめ、多くの保護者の皆様のご協力とご理解もいただき、混乱なく取り行うことができました。重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

子供たちが全力を尽くすことの愛しさとするばらしさ。形は変わっても、改めてこの行事が実施され続ける教育的意義と重要性を再認識したところです。

帯広小学校大運動会を通した、子供たちの更なる飛躍を期待しています。





運動会後片付けの一コマから

運動会直後は、テント撤去サポーターの方をはじめ、たくさんのお力でお力、短時間で物品の片づけを進めていただきました。ですが、

運動会が終わった直後のあの残念な雨は、後片付けを進めるには、大変悩ましいものになりました。濡れたまま、いろいろなものをしまわざるを得ないわけですが、そのままにしておくと次にお目にかかるのは1年後。来年の運動会までは手つかずでしまわれた状態になります。ものによっては、アンパンマンのキャラクターではないですが、異臭を放つ、「かびるるん」の状態になってしまうのです。

運動会明け10日(火)は先生方と6年生を中心に、特にテントの「ほろ」8張分全てを開いて、天日で乾かして、もう一度しまう作業を行いました。大変な作業で重労働ですが、来年も気持ちのよいテントの状態を保つため、みんなで力を合わせてしまなおしてくれました。ありがたいことです。子どもたちは互いに声を掛け合い、汗をかきながら作業を進めていました。

運動会後片付けは、完全なる運動会の終わりを告げる、また学期末に向けて、学校が次へと動き出す、もう一つの恒例行事でもあります。

出前授業がさかんに行われています

運動会後の今週は、おびひろ市民学(食育)のほか、習字の出前授業が行われ、子供たちが学びを深めました。

食育は11日から3日間にわたって、教育委員会の食育指導専門員の大西晶子先生と飯田まみ先生が来校され、全学年の教室で授業を行っていただきました。よく噛んで食べることの大切さ、大豆や牛乳の栄養、給食牛乳の役割など、学年の発達に合わせながら丁寧に指導いただきました。

また、3年生では12日にCS(コミュニティスクール)連携授業の一環として、翠花書道教室を運営され、本校PTAの学習支援サポーターでもある櫻田智美さんに、入門期の習字の指導をいただきました。

専門性の高い「本物の」みなさんからの、わかりやすい、丁寧な指導は、子供たちの食への興味関心がより高まり、また習字のお題「土」もみるみる上達する様子が見られました。

この後も、「ダスキン」の出前授業など、どの学年でも外部の専門家から、様々な領域で、より広く、深い内容の指導を受けることを予定しています。

綱引きと紅白リレーから。ゼッケンをつけた徒競走審判係も大切な役割です。「ホー」を使っている様子に興味を示した子どもたちが、少しだけ草刈り体験。今年のグラウンドの草も手ごわかったのです。



上から飯田先生、大西先生、櫻田先生の授業風景から。専門性の高い指導は、子供たちの興味関心を高めてくれます。